令和7年度

下松教育の指針

■「プログラミング学習」高等専門学校による出前授業（東陽小）

下松市教育委員会

学校教育課

1 下松教育の基本目標

心豊かに生きる力を育む

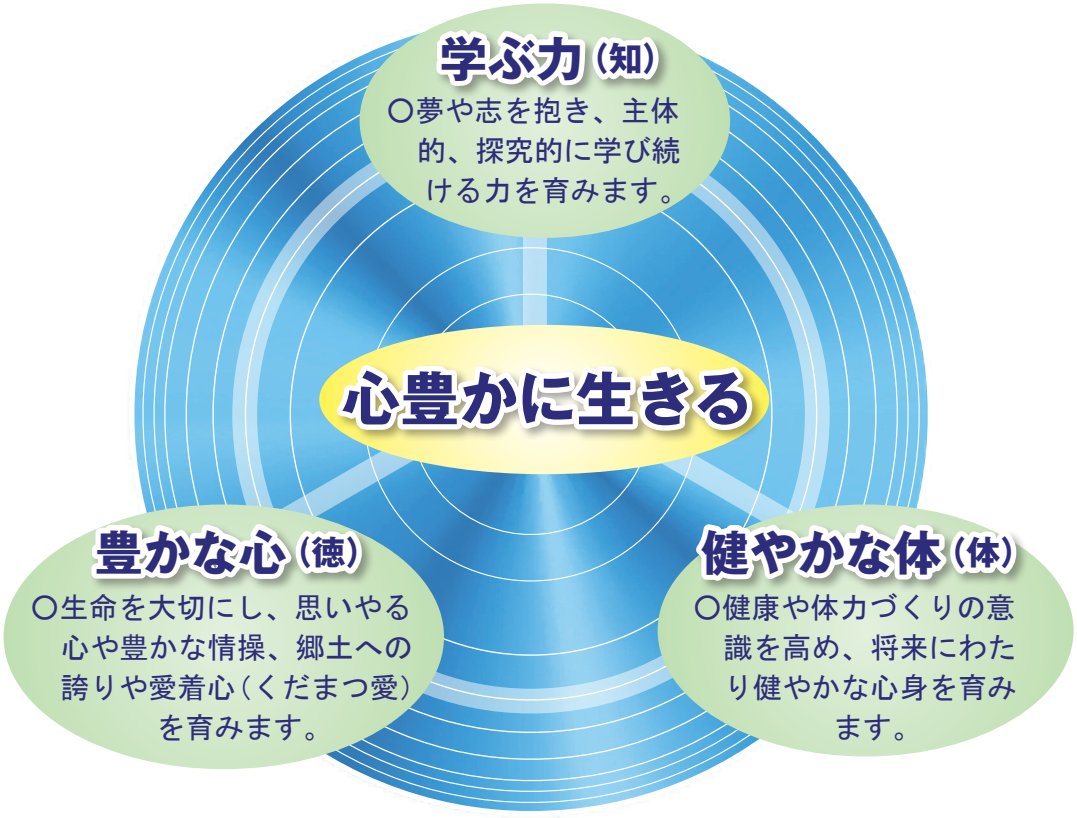
グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化等による社会の急激な変化に伴い、学校教育には、基礎・基本を確実に身につけ、社会の変化に柔軟に対応し、創造性を発揮しながら持続可能な社会の創り手として、自らの人生を切り拓いていくための資質・能力を育成することが求められています。

このことを踏まえ、本市学校教育においては、「心豊かに生きる力を育む」※1を基本目標に掲げ、児童生徒一人ひとりを大切にし、誰もが安心して生き生きと学べる教育を推進していきます。

※1　本市では、「心豊かに生きる力」を、次の両面で捉えています。
「目的を定めた上で、知識技能を活用しながら、現実場面のさまざまな問題を解決する能力」
「思いやりの心や感謝する心をもち、他者と協調しながら、よりよい関係を構築する力」

2 めざす児童生徒像

ふるさとに誇りをもち、たくましく未来を切り拓く、心豊かな下松っ子



3 下松教育推進上の施策の展開

推進目標１ 地域連携教育の充実

主要課題①
地域とともにある学校づくりの推進

取組の視点

1 目標や課題の共有による主体的な取組の充実

学校・家庭・地域が、めざす学校像や育てたい児童生徒像を共有し、関係者が一体となって課題解決に取り組むとともに、学校・地域連携カリキュラムを活用しながら、学校運営及び教育活動の充実に努めます。

■スポーツ委員会が企画した
「１５０ステージプロジェクト」にて（下松小）

2 児童生徒、教職員、地域・保護者の連携の強化

児童生徒や関係者が当事者意識をもって、学校運営協議会等に主体的に参加し、児童生徒や地域の願いを実現する持続可能な取組を推進します。

主な取組

- コミュニティ・スクール推進事業
- CS コーディネーター配置事業
- 地域学校協働活動推進員の配置
- 地域連携推進教育指導員の配置
- 下松市の地域連携教育リーフレット（子ども版）の作成

主要課題②
地域を愛し、夢と誇りを育む教育の推進

取組の視点

1 自然、歴史、埋蔵文化財や伝統文化等を生かしたふるさと学習の充実

郷土の先人や古墳等の史跡、伝統芸能、文化等について学び、関心・理解を深めるとともに郷土下松への誇りと愛着心を育みます。

2 地域に根ざし、地域の特色を生かした教育活動の推進

地域の人材や施設等、教育資源を積極的に活用して体験的な学習の充実を図るとともに、地域の人々とふれあう機会を設け、地域の特色を生かした、児童生徒の夢を育む教育活動の充実に努めます。

■中村地区ふれあい広場
ボランティアスタッフ活動（末武中）

主な取組

- 社会科副読本「わたしたちのきょうど 下松」の活用
- 星ふるまちの図書館教育推進事業
- 「下松市総合計画子ども版」の活用
- 次世代の豊かな心と夢を育むふれあいプロジェクト事業
- 天王森古墳や出土埴輪等、埋蔵文化財の活用
- 郷土資料デジタルアーカイブの活用

主要課題③
安全・安心な学校づくりの推進

取組の視点

1　地域ぐるみの学校安全の取組

児童生徒の安全と安心を確保するため、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の３領域の総合的な取組を推進するとともに、通学路の安全点検、危険予測学習（ＫＹＴ）や防災･防犯訓練､危機管理マニュアルの見直し等に取り組みます。

スクールガード活動など地域ぐるみで児童生徒の安全を見守る環境づくりを進めます。

■笑顔あふれる「あいさつタッチ運動」（公集小）

2　感染症対策の確実な実施

毎日の健康観察や手洗い・うがいの徹底等、国や県の各種通知等に基づき、基本的な感染症対策を確実に実施するとともに、安全・安心な学校づくりを推進します。

主な取組

- 感染症対策の確実な実施
- 下松市通学路安全プログラムの実施
- 下松市防災教育プログラム（避難所体験等）の活用
- 下松市学校ガードボランティア活動事業
- 下松市スクールガード・アドバイザー事業

主要課題④
校種間の連携教育の推進

取組の視点

1　校種間の授業参観や児童生徒の交流活動の推進

幼稚園・保育所、小学校、中学校間の授業参観や合同研修会等を実施し、教職員が互いに教育内容や指導方法を学び合うとともに、高等学校とも連携しながら、幼児・児童・生徒間の交流活動を積極的に推進します。

幼保・小の連携強化に向けて、モデル地域を設定し、「架け橋期のカリキュラム」を作成する等、取組の一層の充実を図ります。

■「教えて先輩」高等学校との連携（花岡小）

2　中学校区で育てたい子ども像や重点目標の設定と共通実践

中学校区ごとに、地域の特色や児童生徒の実態、保護者や地域住民等の願いを踏まえて、学習指導や生徒指導上の重点目標を設定し、小中学校の教職員が共通実践することで、９年間を見通した継続性・一貫性のある教育を推進します。

主な取組

- 下松市幼保・小及び小中連携教育推進事業
- スタートカリキュラムの活用

推進目標２　学ぶ力を育み、学ぶ喜びを実感できる授業の充実

主要課題⑤
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進

取組の視点

1　知識・技能の習得と活用する力の育成

知識・技能の活用を図る学習活動を工夫するとともに、横断的・総合的な課題について探究活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。

2　学ぶ意味や喜びを実感できる授業展開の工夫

個別学習や協働的な学習、体験的な活動等を授業の中で意図的に仕組み、児童生徒が学びの意味や価値を実感し、仲間とともに学びを深める喜びや楽しさを味わえる授業づくりをめざします。

■地域の方を招いて「子どもと一緒にスマホ教室」（久保中）

3　個に応じたきめ細かな学習指導とフィードバック

指導方法や指導形態を工夫・改善し、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ります。また、指導と評価の一体化を図ることにより、一人ひとりの学力と学習意欲を高めます。

4　ＩＣＴの活用と望ましい学習習慣の確立

タブレット端末等の活用を通じて、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みます。また、家庭学習の習慣化による学習の定着を図ります。

5　「キラリくだまつ授業づくり」「振り返りのススメ」を活用した授業改善

児童生徒の学力の確実な定着と向上に向け、学校の課題を明確にし、組織的に授業改善に取り組むとともに、「キラリくだまつ授業づくり」や「振り返りのススメ」等を活用し、日々の授業実践を振り返りながら児童生徒の学習力を育てます。

6　全国学力・学習状況調査等の結果分析を活用した指導体制の充実

国や県が行う学力調査等の結果分析・検証を通して学力向上プランを作成し、学力課題の解決をめざして指導法の工夫・改善に努めます。また、教育内容や時間配分、実施状況に基づく改善を通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、カリキュラム・マネジメントの確立に努めます。

主な取組

- 下松市学習指導実践研究推進事業
- 下松市理科授業づくりセミナー、理科ボランティア事業
- 全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上プランの改善・充実
- 山口県学力定着状況確認問題、やまぐち学習支援プログラム等の活用促進

主要課題⑥
自立と社会参加を支える特別支援教育の推進

取組の視点

1　一人ひとりの教育的ニーズに応じた相談・支援体制の充実

校内委員会等の整備や個別の教育支援計画の作成等、障害のある児童生徒一人ひとりの特性や実情を踏まえたきめ細かな相談・支援体制の充実に努めます。また、相談や支援の充実を図るため、医療・福祉等の関係機関との連携を図ります。

2　教職員の専門性の向上を図る研修の充実

障害のある児童生徒一人ひとりの状況等に応じて、適切な指導や支援を行うことができるよう、研修会や事例検討会を計画的に実施し、教職員の専門性の向上に努めます。

主な取組

- 地域コーディネーター、校内コーディネーターとの連携強化
- こども支援員、医療的ケア支援員、スクールカウンセラー等の配置
- 下松市教育支援委員会、校内コーディネーター等研修会の開催　通級指導教室担当教員等研修会の開催

主要課題⑦
社会の進展に対応した教育の推進

取組の視点

1　ＩＣＴの効果的活用による授業改善と情報モラルの向上

学校とＩＣＴ教育推進室の連携により、タブレット端末等を効果的に活用した授業の充実を図ります。また、教職員研修を実施し、教職員のＩＣＴ活用能力や指導スキルの向上を図ります。家庭とも連携し、情報モラル等に関する指導の充実を図ります。学習用生成ＡＩの利活用については、国のガイドライン等を踏まえ、慎重かつ前向きに導入を検討します。

2　グローバル化に対応した教育及び国際教育の推進

ＩＣＴ活用やＡＬＴ（外国語指導助手）との交流を通して、英語に慣れ親しみながら、英語でのコミュニケーション能力の向上を図ります。また、諸外国の伝統・文化を理解し、尊重する態度や国際協調・協力を実践する態度の育成に努めます。

3　未来を切り拓くキャリア教育の推進

小・中学校の９年間を通して、系統的・計画的なキャリア教育を推進し、児童生徒一人ひとりが夢や目標に向かって、自分にふさわしい生き方を実現しようとする意欲や態度、能力の育成に努めます。

主な取組

- ＩＣＴ教育推進事業
- ＩＣＴ担当教育指導員の配置
- 小学校ＡＬＴ派遣事業、中学校ＡＬＴ派遣事業
- プログラミング教育推進事業
- グローバル化に対応した英語教育推進事業
- 下松市立小学校教員海外派遣研修事業

推進目標３　健やかな心と体を育む教育の充実

主要課題⑧
人権教育・道徳教育等、豊かな人間性を育む教育の推進

取組の視点

1　一人ひとりを大切にする人権教育の推進

「山口県人権推進指針」や「山口県人権教育推進資料」を踏まえ、人権尊重の意識を高め、児童生徒一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進するため、校内の推進体制の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携した取組を推進します。

2　心に響く道徳教育の推進

「特別の教科　道徳」の趣旨や理念の実現に向け、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図ります。また、「考え、議論する道徳」の授業づくりをさらに進め、授業展開の工夫や魅力的な教材の開発に努めます。

3　豊かな感性を育む読書活動の推進

全校で取り組む読書活動や学校図書館を活用した授業、ボランティアによる読み聞かせ活動等を通じて、児童生徒の読書への意欲や関心を高め、感性を育む読書活動の充実に取り組みます。また、学校司書の配置を生かし、学校図書館の整備や機能の充実に努めます。

■図書ボランティアによる読み聞かせ（久保小）

4　あいさつ運動や体験活動の充実

児童生徒の豊かな心を育み、明るく住みよい地域づくりを進めるため、学校・家庭・地域が一体となってあいさつ運動を全市的に推進します。また、宿泊体験や勤労体験、自然体験、福祉・ボランティア体験、文化や芸術に触れる体験等、多様な体験を重視した教育活動の充実を図ります。

5　規範意識の醸成及び児童生徒が主体となった校則の見直し

発達段階に応じ、集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範に基づいて、主体的に判断し行動しようとする規範意識の醸成に努めます。また、校則についても、児童生徒が主体となった見直しを進めます。

6　生徒指導上の諸課題への組織的な取組

いじめや不登校等の諸課題の解決に向けて、児童生徒が自発的・主体的に成長していく過程を支え、未然防止や早期発見・早期対応による積極的な生徒指導に努めます。また、学校・家庭・地域・関係機関が連携を密にし、児童生徒に寄り添う指導や支援の継続的な取組を通して、一人ひとりの自己指導能力の育成に努めます。

主な取組

- 心豊かな子どもを育てる推進事業（「下松市いじめ防止基本方針（改訂版）」を踏まえた取組）
- 下松市道徳教育実践研究推進事業
- 「こころサポーター」活用事業
- 下松市教育支援センター「希望の星ラウンジ」指導員等の配置及び派遣による学校・家庭支援の充実
- 下松市カウンセリングルーム「くだまつふれあいラウンジ」へのカウンセラーの配置
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣
- 下松市小中学校人権教育研究事業
- 下松市学校司書配置事業

主要課題⑨
体力の向上と健康の保持増進を図る健康教育の推進

取組の視点

1　運動に親しみ、体力の向上をめざす学校体育の充実

児童生徒が自ら進んで運動やスポーツに親しみ、将来にわたって健康で活力ある生活を営むことができるよう、体育科や保健体育科において基礎的な身体能力の育成を図ります。また、特別活動などを生かした学校の教育活動全体を通じて、体力向上への効果的な取組を進めます。

2　学校・家庭・地域のつながりを意識した食育の推進

栄養教諭を中核として、学校や家庭、地域、関係機関と連携しながら特色ある食育を推進し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせ、自ら健康管理ができる資質能力の育成に努めます。

3　安全で安心な学校給食の提供

栄養教諭と連携し、学校給食を活用した食に関する効果的な指導に努めるとともに、学校と給食センターが連携を図り、安全で安心な給食の提供に努めます。

4　心身の健康の保持増進を図る健康教育の推進

生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、学校保健安全委員会や家庭・地域と連携し、生活リズムや食生活、運動等を含めた望ましい生活習慣の確立に向けた取組を推進します。また、児童生徒の発達段階に応じた性教育や薬物乱用防止教育、がん教育等を計画的・組織的に実施します。

5　アレルギー疾患に対する取組の充実

食物アレルギーのある児童生徒が増加する中、アレルギー疾患について理解を深めるとともに、保護者や関係機関等と緊密に連携し、緊急時に全教職員が迅速・適切に対応することができるよう研修の充実に努めます。

■家庭で取り組める親子運動
出前授業（中村小）

■「わくわく土木土木とよいっこ現場体験会」市主催の事業（豊井小）

■小学校での平和学習の成果発表
小中連携（下松中）

主な取組

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析と「体力向上維新プロジェクト」の推進
- 「まるごと！下松給食の日」の実施
- つながる食育推進事業
- 下松市学校保健研修会の開催
- 「健康くだまつ２１こども版」の活用

推進目標４　組織的な学校運営の充実

主要課題⑩
総合力の向上に向けた組織的な学校運営の推進

取組の視点

1　組織のスリム化とチーム学校としての組織力の向上

「チームとしての学校」の実現に向け、校長のリーダーシップのもと校務分掌の再編など校内組織の改善を図ります。また、ＩＣＴ等を活用しながら校内会議のスリム化を進め、校内における意思決定過程の迅速化を図り、学校全体の組織力の向上に努めます。

2　マネジメントサイクルに基づく学校運営の改善

学校評価や教職員評価、授業評価等の実施にあたっては、全教職員がそれぞれの評価の意義と目的を共通理解し、ＰＤＣＡのマネジメントサイクルにより学校運営の改善に努め、活力ある学校づくりを推進します。

3　キャリアステージに応じた教職員研修の充実

やまぐち総合教育支援センターや市教育委員会主催による研修会等を効果的に活用し、教職員のキャリアステージに応じた人材育成に計画的・継続的に取り組むとともに、ＯＪＴや自己啓発研修を通じて、自らの専門分野の伸長と課題の克服に努めます。

4　管理職の学校経営能力の向上

教育法規に基づく適切な学校管理運営や危機管理、学校組織マネジメント、メンタルヘルスマネジメント、服務規律、人材育成、業務改善等に関する管理職研修を充実させ、直面する教育課題に組織的に対応できる、管理職の総合的な経営能力の向上を図ります。

5　下松市教育研究所と連携した研修の充実

今日的な教育課題に対応した調査研究活動の充実、教職員に求められる資質・能力や指導力の向上に向け、専門的な指導ができる教育指導員を配置し、下松市教育研究所の機能の強化を図ります。また、全国の先進地域への教育研修生を派遣し、教育に対する強い情熱と高い志をもった魅力ある教職員の育成に努めます。

6　学校事務の効率化・平準化・適正化に向けた共同実施の充実

事務の共同実施により、事務処理体制の整備や学校事務の効率化・平準化・適正化を図るとともに、教員がきめ細やかな学習指導や教育活動に専念できるための事務処理等の体制づくりに取り組み、教育環境の整備や学校の活性化を図ります。

7　学校における働き方改革及び部活動の地域移行の推進

持続可能な学校運営の構築に向けて、統合型校務支援システムを適切に活用し、教員の業務改善、働き方改革を推進します。部活動の地域移行は、地域や関係団体の協力を得ながら、全市的なサポート体制の整備を進めていきます。

主な取組

- 人材育成総合推進事業、管理職研修の改善・充実
- 下松市教育研究所教育指導員の配置
- 下松市教育研究所員集会の開催
- 教員業務支援員や部活動指導員の配置
- 「学校事務の共同実施」実践研究事業
- 下松市小中学校部活動地域移行推進協議会の開催
- 統合型校務支援システムの活用

下松市総合計画推進テーマ

『くだまつ愛』で　未来へつなぐ　安全安心なまち

令和７年４月
下松市教育委員会　学校教育課
〒744-8585　山口県下松市大手町3-3-3
TEL　0833-45-1869　　FAX　0833-45-1865
URL　http://www.city.kudamatsu.lg.jp/gakkou/index.html